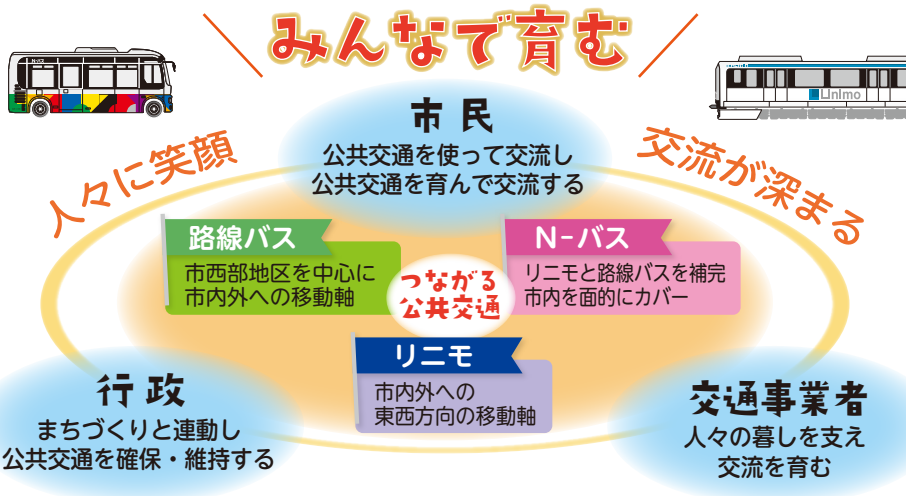


公共交通の将来像

市民・交通事業者・行政がつながり、みんなで考え、みんなで育む公共交通を目指します。

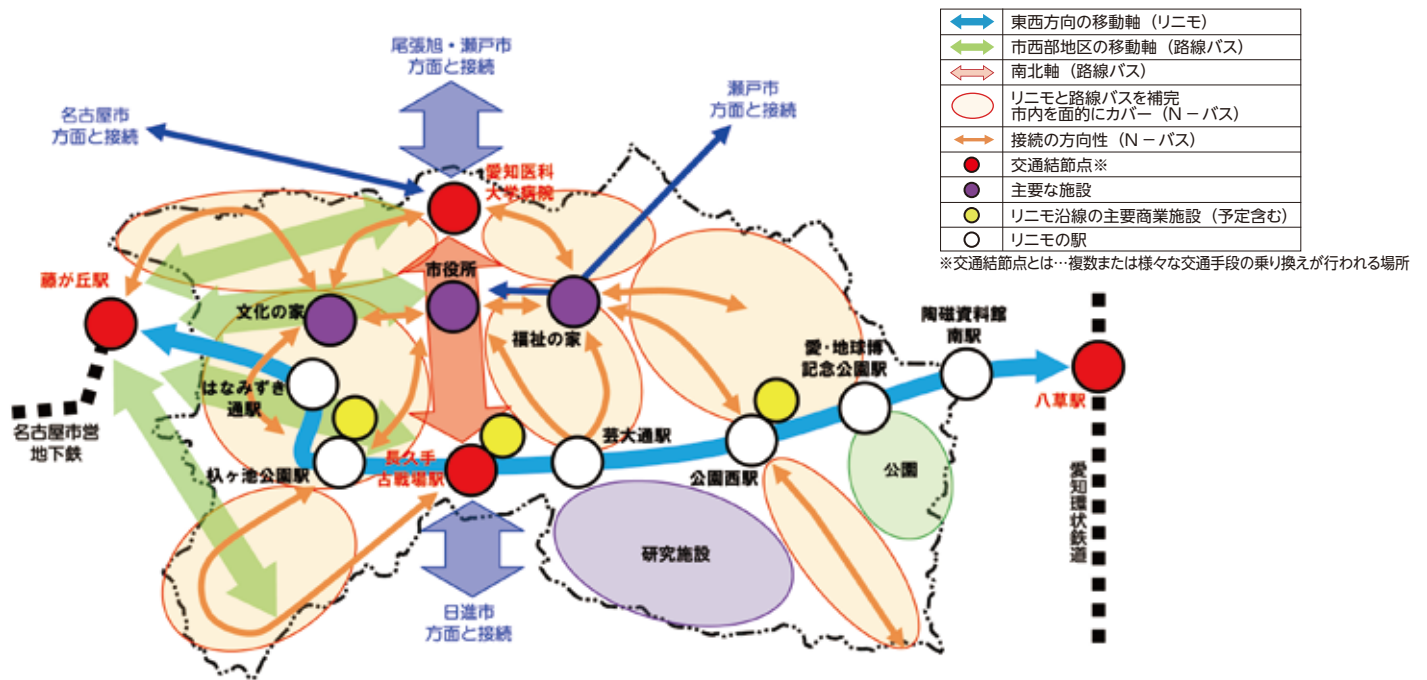


名城大学 松本幸正 教授
(長久手市地域公共交通会議会長)

「交通」とは、目的を持った移動のことですが、その語源の一つには「交流」という意味もあります。したがって、「公共交通機関」は「公共交流機関」と読み替えることができ、人々の交流を深める「まちの装置」であることがわかります。「公共交通で人々の交流が深まり、人々が公共交通を育む」将来像には、そんな想いが込められています。

将来の公共交通ネットワーク

リニモ・路線バス(名鉄バス)・N-バスが一体となって市内の移動をカバーする公共交通ネットワークを目指します。



主な実施事業

事業名	事業概要
バス路線の再編	市民とともに今後のN-バスのあり方を考え、N-バスの路線を見直します。
交通結節点の整備	「長久手古戦場駅」「愛知医科大学」を新たな交通結節点として整備します。
ICカードの検討	リニモへのICカードの導入を積極的に働きかけます。
市民参加型の公共交通利用促進活動の展開	市民とともに市民主体で公共交通を育むための仕組みをつくり、市民目線の継続的な公共交通利用促進活動を支援します。